

令和8年度 第3回 浜松市立平山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年9月11日（金） 14:30～15:30
- 2 開催場所 平山小学校 ひなぶ館
- 3 出席委員 森田佳津子、山田祐子、清水巨久、山崎由樹、山口竜士、加藤良知、山田寿美子、山田智久、清水浩二
- 4 欠席委員 横井清雄
- 5 学校支援コーディネーター 樋田まさ系、浅野陽江
- 6 学 校 縣倫子（校長）、夏目浩敬（教頭）、稲吉博章（教務主任）、松本大誠（教諭）、野村玖実（教諭）、緒方有基（教諭）、久米満代（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 久米満代
- 9 議長の選出 議長について、第1回の話し合いのとおり森田会長が務めることを、全員異議なく承認した。
- 10 協議事項 目指す子供の姿の実現のためにできること（具体的な支援策）
- 11 会議記録
 - ・司会の教頭から、委員総数10人中9人の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。前回会議録の確認（久米）後、熟議に入る。

熟議（グループ協議）

- ・3つのグループに分かれて協議が行われ、その内容をグループ代表が発表した。

【A班】 委員 森田佳津子・山田祐子・清水巨久・山口竜士
職員 緒方有基

【B班】 委員 山田智久・山田寿美子・加藤良知
学校支援コーディネーター 樋田まさ系
職員 松本大誠

【C班】 委員 清水浩二・山崎由樹
学校支援コーディネーター 浅野陽江
職員 稲吉博章・野村玖実

（1）子供の心理的安全性と生活の安全・安心が保障された学校づくりについて

- ・たくさんの声掛けや見守りが、子供たちの安心につながる。（A・C）
- ・家族でも先生でもない地域の身近な大人として、気軽に話ができる。（C）
- ・地域の見守り活動が、もっと広がるとよい。（B）

（2）子供の多様性に配慮した教育環境づくりについて

- ・できるだけ多くの人と関われるように、異学年合同授業をしたり、尾奈小や平山幼稚園との交流を増やしたりしている。（C）
- ・運動会などに、子供が在籍していない方も来場してもらうように、もっと情報を発信するとよい。（A・B）

- ・地域の行事に子供が参加しやすくする。(B)
- ・カウンセラー等と連携して相談しやすい環境をつくり、安心できる環境を整備する。
(A)

(3) 子供の自立・共生・創造につながる学校生活、学習・体験活動の展開について

- ・大人がすぐに手を出してしまわないで、子供たちに任せてみる。(A・B・C)
- ・才の神饅頭作りに協力したい。(C)
- ・DIY作業など、大人だけでなく子供も一緒にできるといい。その経験が、“学校や地域が好き”につながるのではないかな。(A)
- ・地域の良い場所、良い人材をもっと活用してほしい。(A・B・C)

各班の発表を聞き、委員・職員から以下の発言があった。

- ・遠くに近くに、ずっと見守っていききたい。(清水浩二委員・森田会長)
- ・地域と学校の連携をもっと増やした方が良いと気付いた。(山田智久委員)
- ・先生がどのように考えて取り組んでいてくれるか知れた。地域の方の見守りもありがたい。(山崎委員)
- ・出た意見を今後活かしたい。(加藤委員)
- ・今年度からの参加で、自分に何ができるのかと思っていた。先生や地域の方の思いが知れて、今後の活動のためになる。(山田寿美子委員)
- ・それぞれの立場で、子供たちのことを考えてくれている。大人が簡単に指示するのではなく、本人が考えるように、子供たちを導けるようになりたい。(森田会長)
- ・学校だけでなく家庭や地域でもグランドデザインを意識して、地域全体で平山の子供たちを育ていけるよう、みんなで協力したい。(夏目教頭)
- ・今日の話し合いを、地域の集まりや家族の会話のなかで伝えてほしい。(夏目教頭)

最後に教頭より、この話し合いは、令和9年度の教育課程編成の検討会議に盛り込んでいきたいとの発言があった。

12 連絡事項(教頭)

- ① 運動会について
- ② 学校評価アンケートについて
- ③ 次回の学校運営協議会の予定

第4回 令和9年2月15日(月) 14:30~16:00

- ・本年度のまとめと来年度の取組計画